

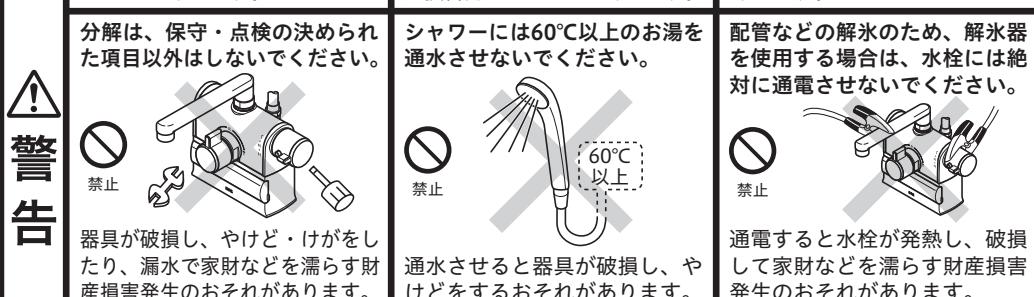
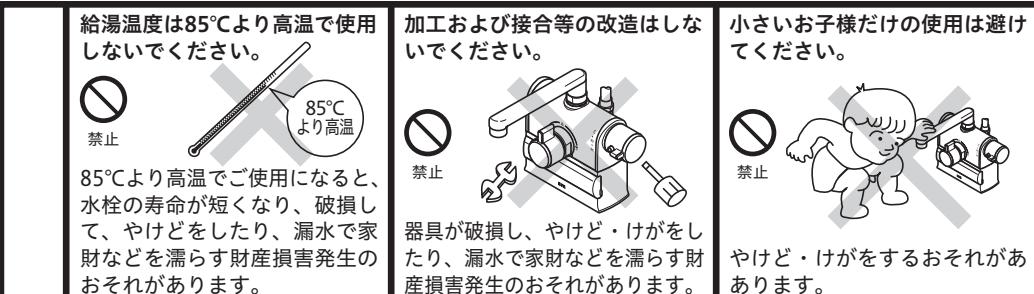
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- この取扱説明書はKF3008RHS仕様のイラストで説明しています。

## 安全上のご注意

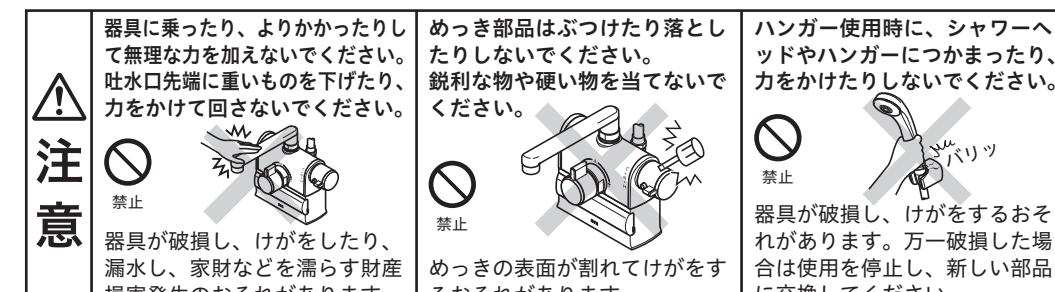
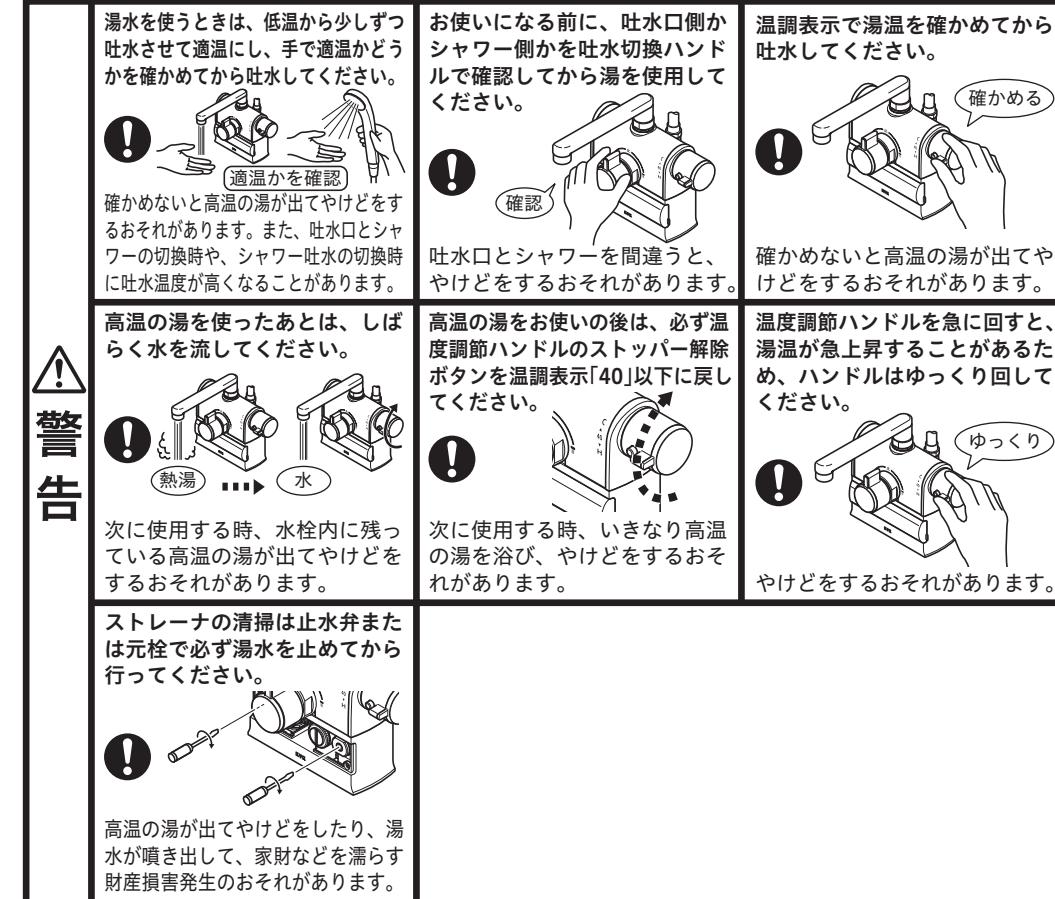
- ここに示した **△ 警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **△ 注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



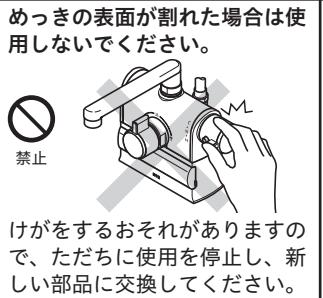
**やけど、漏水をした場合の処置** **やけど** やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。  
そして専門の医師の診察を受けてください。  
**漏 水** 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。



## 警告



## 注意



めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。



シャワーホースは無理に引っぱったり折り曲げたりしないでください。



シャワーヘッドは髪から離してお使いください。

けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。

ヘッドをホースに取り付ける際はホースナットを回してまっすぐ取り付けてください。

ヘッドのねじ部は樹脂製のため、斜めに取り付けると、ねじがつぶれホースに取り付けできなくなる場合があります。

【ワンストップシャワー仕様の場合】凍結が予想される際は、シャワー出止ボタンを出の状態にして、水栓金具の凍結予防の手順に従い水抜きをしてください。

【ワンストップシャワー仕様の場合】水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

吐水切換ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがあるため、ゆっくり操作してください。

急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【ワンストップシャワー仕様の場合】使用後は、必ずシャワー出止ボタンを出の状態にして、水栓金具のハンドルで止水してください。

1. ボタンが  
出ている  
2. ハンドル  
で止水

水栓本体のハンドルで止水しないと器具が破損するおそれがあります。

凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。

水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

**0120-474-161** ※携帯電話からは、**0574-55-1191**をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。

[シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]

●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。

**0570-099-552**

技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用

部品代…修理に使用した部品代

出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

株式会社KVK

インターネットホームページ <https://www.kvk.co.jp/>

3ページ

## ご使用方法

## 温度調節方法

ストッパー解除ボタンを温調表示に合わせます。目盛「40」を目安にしてください。

高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。

(温度: 約42~45°C)

それ以上の高温を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。

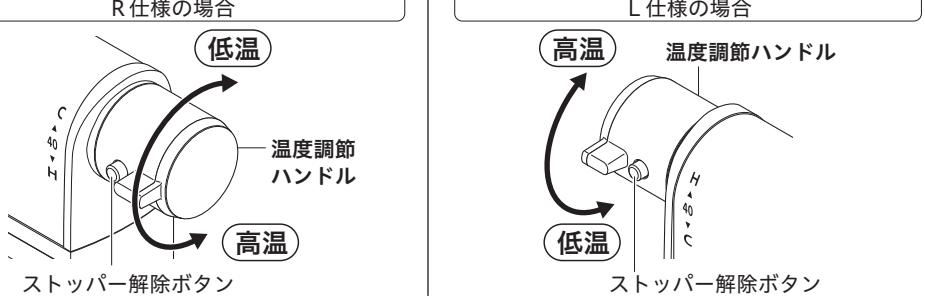
使用後は目盛「40」以下に戻してください。

※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

【△注意】

R仕様とL仕様では、温度調節ハンドルの操作方向が異なります。

ご使用前に、必ず温調表示と操作方向を確認してください。



## 吐水切換方法

吐水切換ハンドルを右へ回す(▼の方向)と吐水口から湯水が出ます。右いっぱいまで最大流量になります。

吐水切換ハンドルを左へ回す(▲の方向)とシャワーから湯水が出ます。左いっぱいまで最大流量になります。

止水 ハンドルの凸部を「止」に合わせると止水します。

【△警告】湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうかを確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

【△注意】吐水切換ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーター・ハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【通水音が大きい場合】吐水切換ハンドルを使用する際に通水音が大きい場合は、湯水の止水弁をしばらく吐水切換ハンドルを全開にして使用してください。(流量の調節方法参照)

【止水直後の水滴について】シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがあります。これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。

シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



【△注意】シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。

5ページ

## ご使用の前に

●この製品は、はっ水コーティングが施してあり、お手入れしやすい水栓となっております。(お手入れ方法は、6ページ「お手入れ方法」を参照してください。)

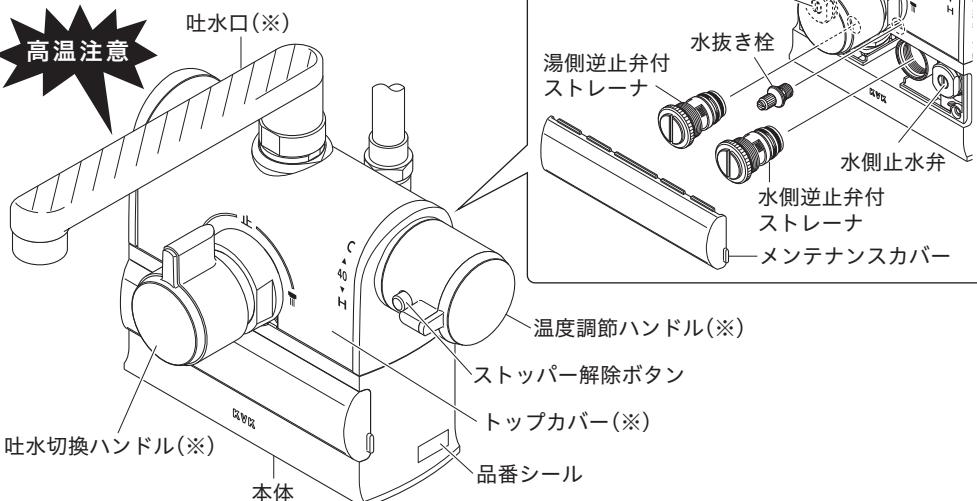
## 給湯器の使用上のご注意

- ・給湯器の給湯温度は、50°C~60°Cに設定することをおすすめします。必要とする吐水温度[適温約40°C]が得られないことがあります。
- ・吐水切換ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- ・吐水切換ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は吐水切換ハンドルで調節を行ってください)

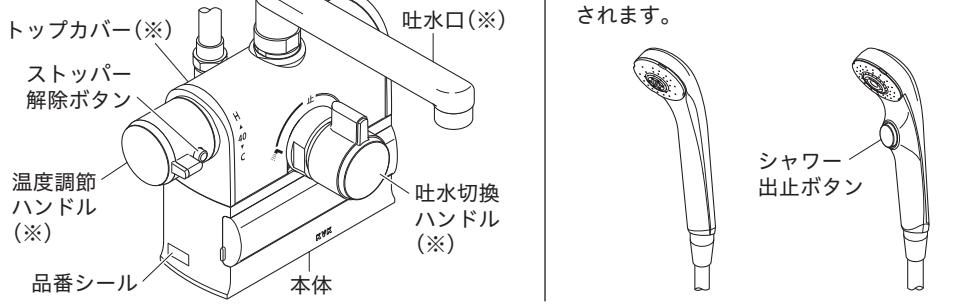
## 各部の名称

※トップカバー、温度調節ハンドル、吐水切換ハンドル、吐水口にははっ水コーティングが施してあります。

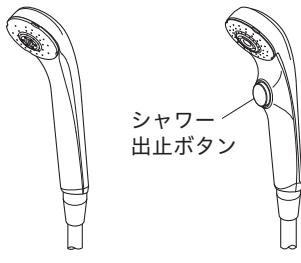
## [R仕様の場合]



## [L仕様の場合]



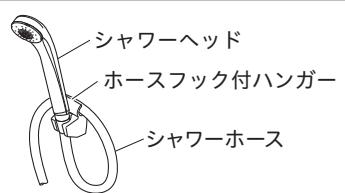
※商品により、いずれかのシャワーがセットされます。



4ページ

## ホースフック付ハンガー使用方法 ※仕様により同梱されていないものがあります。

シャワーホースをホースフック付ハンガーのフックに引っ掛けで使ってください。



## 日常のお手入れ・保守1

## お手入れ方法

汚れは乾いた柔らかい布で軽く拭き取ります。



【使ってはいけないもの】

シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塗素系洗剤および漂白剤は使わないでください。メラミンスポンジ・たわし・みがき粉・蛇口清掃用クロス(PZY26[別売])等ははっ水性能の低下や外観にキズが入るおそれがありますので使わないでください。



強くこすったり、薬品などを使用された場合には、はっ水コーティングの効果が短くなるおそれがあります。

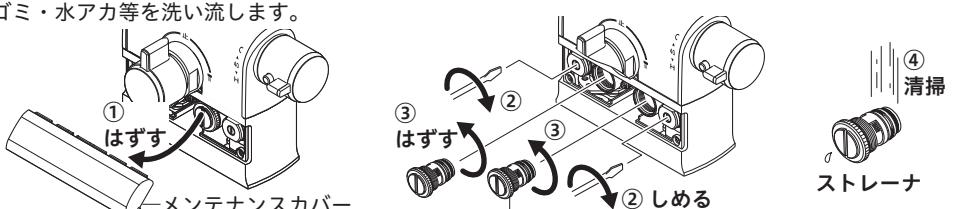
## ストレーナの清掃方法

本体と吐水口のストレーナにゴミがつまると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

## 本体のストレーナ清掃

- 【△警告】・ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・湯側ストレーナの中には熱湯がたまっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ①メンテナンスカバーをはずします。
- ②湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ③湯側・水側の逆止弁付ストレーナ[2個]を取りはずします。
- ④ゴミ・水アカ等を洗い流します。



清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水口側にしてください。

6ページ

## 日常のお手入れ・保守 2

### 吐水口のストレーナ清掃

- ① 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。  
② ストレーナを水洗いします。

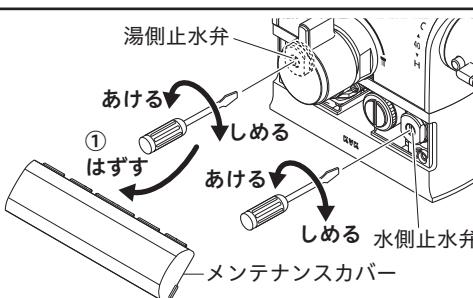


清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

### 流量の調節方法

流量の調節は下記の方法で行ってください。

- ① メンテナスカバーをはずします。  
② 湯水の止水弁[2か所]をマイナスドライバー等で流量調節します。



### 温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛がズレている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

- 【はじめに確かめてください】**
- 止水弁を全開しているか確かめてください。
  - ストレーナにゴミが詰まっているか確かめてください。
  - 給湯温度50°C~60°Cの湯が給湯できているか確かめてください。

① 全開吐水で目盛に関係なく40°Cのお湯が出る所まで温度調節ハンドルを回します。

【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。

③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。

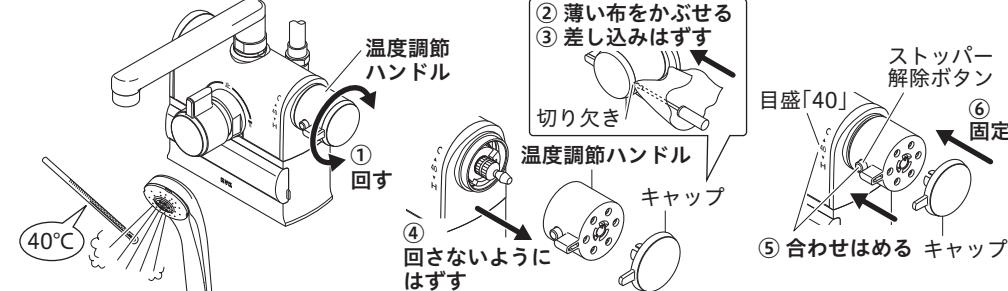
④ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。

⑤ スッパー解除ボタンを温調表示の目盛「40」に合わせて、ハンドルをはめます。

⑥ キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温調表示と吐水温度があっていることを確認してからご使用ください。

\*目盛は、温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。



7ページ

## 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

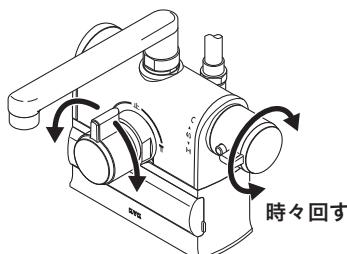
### 温度調節ハンドルの操作性（1か月に1回程度）

- 【△注意】時々温度調節ハンドルをいっぱいに回してください。  
温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

### 吐水切換ハンドルの操作性

時々吐水切換ハンドルをいっぱいに回してください。

吐水切換ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。



### 配管まわりからの水漏れ（1か月に1回程度）

- 【△注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

## 定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

使用年数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

お客様による日常のお手入れ・点検

買い替え  
ご検討

消耗部品の交換（パッキン等）【有料】

消耗部品の交換（パッキン等）【有料】

消耗部品の交換（パッキン等）【有料】

取付日

部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

・摩耗劣化部品の例（水栓の種類によって異なります）

例）カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等

- 【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。（逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。）

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後10年です。

## 凍結予防のしかた

●水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。

凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。

●凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。

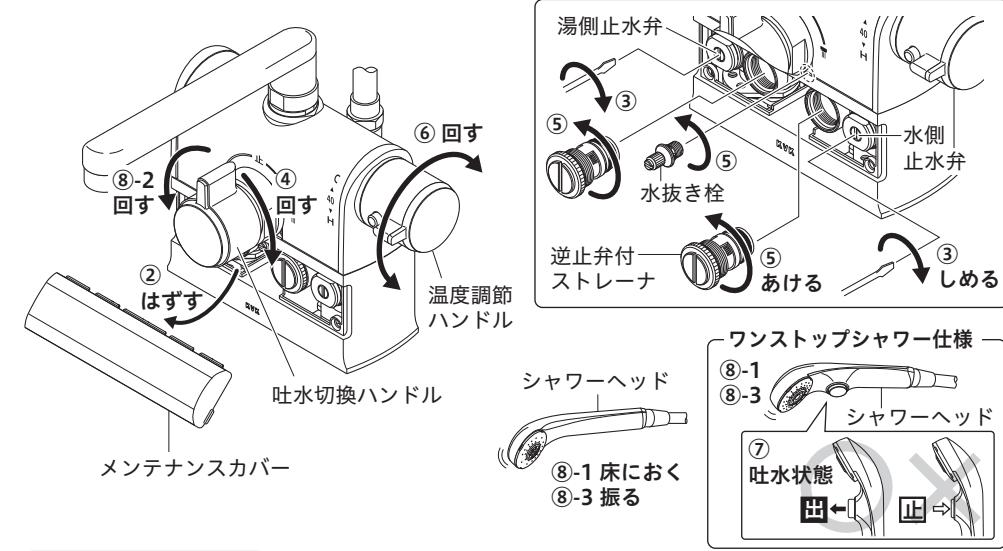
【△警告】解氷機を使用する際は、水栓（給水・給湯管含む）には絶対に通電しないでください。通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。

怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操 作
①	①	配管の水抜き栓を操作します。（給水元の水抜き栓の操作）
②	②	メンテナスカバーをはずします。
③		湯水の止水弁(2か所)を締めます。
④	④	吐水切換ハンドルを吐水口側にします。
⑤	⑤	水抜き栓と逆止弁付ストレーナ(2個)を開けて水を抜きます。
⑥	⑥	温度調節ハンドルを「H」に回して水を抜き、「C」に回して水を抜きます。
⑦	⑦	ワンストップシャワー仕様 シャワー出止ボタンを出の状態にします。
⑧	⑧	(-1) シャワーヘッドを床におきます。 (-2) 吐水切換ハンドルをシャワー側にします。 (-3) シャワーヘッドを振って中に水を抜きます。

【△警告】水抜き栓の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないよう注意してください。



8ページ

## 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。

修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせる	5ページ 「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です 故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
(シャワー) (が弱い)	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6・7ページ 「ストレーナの清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナは凍っていますか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
	給湯器の給湯温度を50°C~60°Cに上げる		—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	7ページ 「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6・7ページ 「ストレーナの清掃方法」
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	7ページ 「温度調節ハンドルの設定方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6・7ページ 「ストレーナの清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定	給湯器の給湯温度を50°C~60°Cに設定し、水側止水弁をしぼることにより、改善される場合があります		—

### [水栓本体内部のメンテナスをする場合]

【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

9ページ

10ページ

405497-00